

第8回 港湾におけるICT導入検討委員会 議事概要

日時：令和元年11月15日（金） 15：00～17：00

場所：（一財）港湾空港総合技術センター 6階会議室

1. 主な議事

○事務局より、本年度の委員会での取り組み内容等について説明をした後、委員による意見交換を行った。

2. 主な意見

○ICT 浚渫工については、起工時・竣工時の3次元測量にあわせて、施工中においてもマルチビームを用いて3次元で管理するようにし、将来的には施工の自動化につながるような取り組みが必要。

○ICT 浚渫工の出来形測量と水路測量については、データ処理方法の迅速化や提出資料の統合等について、関係機関が一体となった取り組みを継続し、効率化を図っていく。

○基礎工やブロック据付工等における水中作業には特に危険が伴うことから、効率化の観点だけでなく安全性向上の観点からもICTの導入・活用は推進していくべき。

○ICT 活用事業の拡大に対応していくためには、既存技術や単独技術だけでは限界があることから、最新技術や複合技術等についてモデル工事を実証試験を行い、適用の可能性を見出していくことが必要。

○ICT の導入・活用については、民間の技術開発を促すような取り組みが必要。ICT を導入することにより非効率になる部分もあると思われるので、アンケート調査等において明確化し、見直しが必要な内容については、適宜要領等に反映していくことが必要。

○BIM/CIM 導入ガイドライン等の改定にあたっては、完了した試行業務や工事についてのアンケート調査結果だけでなく、関係者へのヒアリング等により試行事業の最新情報等を把握し、反映していくことが必要。

○目的は生産性の向上であり、ICT 等を使うことではないので、測量調査から維持管理に至るまでの建設事業全体としての効果がわかるようにすることが必要。

以上